

**BỘ GIÁO DỤC VÀ ĐÀO TẠO  
TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUẢN LÝ VÀ CÔNG NGHỆ HẢI PHÒNG**

---



ISO 9001:2015

# **KHÓA LUẬN TỐT NGHIỆP**

**NGÀNH: NGÔN NGỮ ANH – NHẬT**

**Sinh viên : Trần Thị Trang  
Giảng viên hướng dẫn : Đinh Thị Mỹ Linh**

**HẢI PHÒNG 07 - 2020**

教育訓練省  
ハイフォン経営・技術大学

-----

相撲の文化的な美しきに関する研究

卒業論文  
専門：英語－日本語学

学生　　：チャン・ティ・チャン  
指導教官：ディン・ティ・ミー・リン

ハイフォン 07 - 2020

**BỘ GIÁO DỤC VÀ ĐÀO TẠO**  
**TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUẢN LÝ VÀ CÔNG NGHỆ HẢI PHÒNG**

---

**NHIỆM VỤ ĐỀ TÀI TỐT NGHIỆP**

**Sinh viên:** Trần Thị Trang

**Mã SV:** 1612753016

**Lớp** : NA2001N

**Ngành** : Ngôn ngữ Anh – Nhật

**Tên đề tài:** 相撲の文化的な美しきに関する研究

# NHIỆM VỤ ĐỀ TÀI

1. Nội dung và các yêu cầu cần giải quyết trong nhiệm vụ đề tài tốt nghiệp

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. Các số liệu cần thiết để thiết kế, tính toán.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. Địa điểm thực tập tốt nghiệp.

.....

## CÁN BỘ HƯỚNG DẪN ĐỀ TÀI TỐT NGHIỆP

Họ và tên : Đinh Thị Mỹ Linh

Học hàm, học vị :

Cơ quan công tác : Đại học Quản lý và Công nghệ Hải Phòng

Nội dung hướng dẫn : .....

Đề tài tốt nghiệp được giao ngày 30 tháng 03 năm 2020

Yêu cầu phải hoàn thành xong trước ngày 30 tháng 06 năm 2020

Đã nhận nhiệm vụ ĐTTN

*Sinh viên*

Đã giao nhiệm vụ ĐTTN

*Giảng viên hướng dẫn*

*Hải Phòng, ngày 01 tháng 07 năm 2020*

**HIỆU TRƯỞNG**

**PHIẾU NHẬN XÉT CỦA GIẢNG VIÊN HƯỚNG DẪN TỐT NGHIỆP**

Họ và tên giảng viên: .....

Đơn vị công tác: .....

Họ và tên sinh viên: ..... Chuyên ngành: .....

Nội dung hướng dẫn: .....

.....

**1. Tinh thần thái độ của sinh viên trong quá trình làm đề tài tốt nghiệp**

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

**2. Đánh giá chất lượng của đề án/khóa luận (so với nội dung yêu cầu đã đề ra trong nhiệm vụ Đ.T. T.N trên các mặt lý luận, thực tiễn, tính toán số liệu...)**

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

**3. Ý kiến của giảng viên hướng dẫn tốt nghiệp**

Được bảo vệ  Không được bảo vệ  Điểm hướng dẫn

*Hải Phòng, ngày ... tháng ... năm .....*  
**Giảng viên hướng dẫn**  
*(Ký và ghi rõ họ tên)*

**CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM**  
**Độc lập - Tự do - Hạnh phúc**

**PHIẾU NHẬN XÉT CỦA GIÁO VIÊN CHĂM PHẢN BIỆN**

Họ và tên giảng viên: .....

Đơn vị công tác: .....

Họ và tên sinh viên: ..... Chuyên ngành: .....

Đề tài tốt nghiệp: .....

.....

.....

**1. Phần nhận xét của giáo viên chăm phản biện**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**2. Những mặt còn hạn chế**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**3. Ý kiến của giảng viên chăm phản biện**

Được bảo vệ  Không được bảo vệ  Điểm phản biện

*Hải Phòng, ngày ... tháng ... năm .....*

**Giảng viên chăm phản biện**

*(Ký và ghi rõ họ tên)*

# 目次

|   |    |
|---|----|
| 謝辞  | 1  |
| はじめに  | 2  |
| <sup>かだいせんてい</sup> <sup>りゆう</sup>                       |    |
| 1. 課題選定の理由  | 2  |
| 2. 研究の目的  | 3  |
| 3. 研究方法   | 3  |
| <sup>けんきゅう</sup> <sup>はんい</sup> <sup>たいしょう</sup>        |    |
| 4. 研究の範囲と対象   | 3  |
| 5. 研究内容   | 5  |
| 内容  | 5  |
| <sup>がいよう</sup>   |    |
| I. 概要   | 5  |
| 1. 相撲の呼び方の起源  | 5  |
| 2. 歴史   | 6  |
| II. 相撲力士になるには   | 9  |
| 1. 力士になるための3条件  | 9  |
| 2. 相撲になる手続き   | 10 |
| III. 相撲の番付  | 12 |
| 1. 関取   | 14 |
| 2. <sup>りきしょうせいん</sup> 力士養成員                            | 16 |
| IV. 相撲の日常生活   | 18 |
| 1. 相撲の一日  | 18 |
| 2. <sup>かみがた</sup> 力士の髪型                                | 19 |
| <sup>かみ</sup> <sup>しゅるい</sup>                           |    |
| 2.1 髪の種類について  | 23 |
| <sup>りきし</sup> <sup>かみ</sup> <sup>け</sup> <sup>じげ</sup> |    |
| 2.2 力士の髪の毛は地毛   | 24 |



|   |    |
|---|----|
| 2.3 髪 <small>かみ</small> の毛 <small>け</small> の手入 <small>てい</small> れ.....      | 24 |
| 3. 相撲の衣装.....   | 24 |
| 4. 相撲の給料.....   | 25 |
| 4.1 横綱～十両の給料.....   | 25 |
| 4.1.1 諸手当の種類.....   | 26 |
| 4.1.2 「力士褒賞金 <small>りきしほうしょうきん</small> 」.....                                 | 28 |
| 4.2 幕下以下の給料.....  | 31 |
| 4.2.1 場所ごとの手当.....  | 31 |
| 4.2.2 幕下以下の奨励金 <small>しょうれいきん</small> .....                                   | 31 |
| 4.3 優勝賞金.....   | 32 |
| 4.4 力士の退職金.....   | 33 |
| V. 相撲の試合.....   | 35 |
| 1. 土俵.....  | 35 |
| 2. 相撲の試合.....   | 38 |
| 2.1 協議前 <small>きょうぎまえ</small> にじゅんびする.....                                    | 38 |
| 2.2 試合 <small>しあい</small> の前 <small>ぜんご</small> 後の所作 <small>しよさ</small> ..... | 40 |
| 2.3 相撲の基本ルール.....   | 42 |
| 2.3.1 禁 <small>きん</small> じ手 <small>て</small> .....                           | 44 |
| 2.3.2 禁 <small>きん</small> じ技.....   | 45 |
| 2.3.3 決 <small>き</small> まり手.....   | 46 |
| 2.4 一日の相撲の試合.....   | 48 |
| 3. 相撲の試合を観戦するためのヒント.....  | 49 |
| 4. その他の相撲イベント.....  | 52 |
| 5. いくつかの有名な力士.....  | 53 |

|                            |    |
|----------------------------|----|
| VI. ベトナムのレスリングの対照.....     | 55 |
| 1. 類似点 .....               | 55 |
| 2. 相違点 .....               | 55 |
| 2.1 練習 .....               | 55 |
| 2.2 ルール .....              | 55 |
| 2.3 試合 .....               | 56 |
| 結論 .....                   | 58 |
| 参考資料 .....                 | 60 |
| <br>                       |    |
| 写真 1 : 相撲の紹介 .....         | 4  |
| 写真 2 : 相撲の食事 .....         | 20 |
| 写真 3 : 相撲の練習 .....         | 22 |
| 写真 4 : 相撲の衣装 .....         | 25 |
| 写真 5 : 相撲の土俵 .....         | 38 |
| 写真 6 : ベトナムのレスリング .....    | 57 |
| 一覧表 1 : 現行の番付の地位一覧 .....   | 13 |
| 一覧表 2 : 相撲の給料 .....        | 28 |
| 一覧表 3 : 幕下以下の場所ごとの手当 ..... | 31 |
| 一覧表 4 : 幕下以下の奨励金 .....     | 32 |
| 一覧表 5 : 相撲の優勝賞金 .....      | 32 |
| 一覧表 6 : 相撲の禁じ技 .....       | 45 |
| 一覧表 7 : 相撲の決まり手 .....      | 47 |

# 謝辞

この論文を通していつもわたしをせわをしてくれた友人、家族、先生せんせいのみんなに感謝かんしゃしたいとおもいます。

まず、ハイフォン私立大学のチャン・フー・ギ (Trần Hữu Nghị) 校長こうちょうとに時間通りじかんどおに卒業する機会を与えてくれました。大学在学中、先生がたくさんの助けてくれました。私は心から感謝したいと思います

次、私はチャン・ティ・ゴック・レン (Trần Thị Ngọc Liên) 学部長をはじめ、ハイフォン私立大学の外国語学科の先生にお礼を申しあげたいと思います。先生はとても熱心だ。困った時、いつも手伝います。それからファム・ティ・ホアン・ディップ (Phạm Thị Hoàng Diệp) 先生とファム・ティ・フェン (Phạm Thị Huyền) 先生に感謝したいと思います。一年目から四年目までいつも私を助けてくれます。

特にこの卒業論文の完成を直接案内ちよくせつあんないしてくれた先生のディン・ティ・ミー・リン (Đinh Thị Mỹ Linh)。三年生と四年生に先生が日本語を教えてくれた。卒業論文を書いている間に、いくつかの困難こんなんがありましたが、せんせいは熱心ねっしんにおしえてくれました。こころから感謝します。

私はまだたくさん経験けいけんがないので、卒業論文はまだ多くの欠点があります。みんなにがわたしを助けてたすくれて、いい卒業論文ができることを願ねがっています。

ハイフォン 2020 年、6 月

学生

チャン・ティ・チャン

# はじめに

かだいせんてい りゆう

## 1. 課題選定の理由

日本が大好きだ。日本は桜の国として世界に知られている。日本人はとても親切で勤勉だ。日本の文化を学ぶことが趣味だ。日本は文化の長いくにだ。何千年を経過しますでもでんとうを保持する。私たちは見つけたいくつかの文化は日本にある。せかいのほかのくにはない。日本といえば、茶道とか着物とかお酒などが有名な文化である。そのなかで相撲に言及する必要がある。相撲は有名な文化だ。相撲のシンボル精神、日本のスポーツのほこりだ。相撲に関していえば、だれもがすばらしいファイターを思い浮かべる。相撲がおこなわれ、競われるのは日本しかできない。日本人にとって相撲は純粋なスポーツであるだけでなく、国民の宗教でもある。

日本人の才能と頑強が相撲のイメージにはっきりとあらわれている。プロの相撲になるのは簡単ではない。かれらの訓練プロセスは非常に困難で挑戦的だ。それで相撲は日本人から高く評価されている。

子供の時相撲を見ることが大好きだ。とてもおもしろい。試合に入るとき、相撲は非常に激しいでも、常に相手を尊重する。これは日本人の文化的精神をあらわしている。

それで、論文の主題として相撲を選ぶことにした。この論文をおして、相撲をもっと理解したいと思う。

## 2. 研究の目的

確かに誰もが相撲を見たことがあるでも、だれもがこのスポーツをよく知っているわけではない。相撲のほとんどは、合宿がっしゆくに住んでいる必要がある。合宿はトレーニング活動かつどうから食事しょくじまで、ルールは非常にひじょう厳しい。皆が相撲をもっとよく理解りかいできるようにこの研究論文けんきゅうろんぶんをやる。

## 3. 研究方法

インターネット上の方法を調査し、信頼できる情報源を見つけるために本や新聞を読む。

それに書いた先輩の論文も調べてより多くの経験を先生にお願いする。

## 4. 研究の範囲と対象

### — 範囲

論文の範囲は相撲だ。地理的範囲は日本である。

### — 対象

論文のトピックは相撲なので、対象は相撲である。

## 5. 研究内容

この論文は、相撲すもうに関連するすべての問題もんだいを研究けんきゅうしたいと思う。たとえば歴史れきしとか相撲すもうの生活せいかつとか相撲すもうになる条件じょうけんとか試合しあいなど等級とうきゅうなど書く。それにベトナムはレスリングがあるでも相撲すもうと比較ひかくして、多くの違いがある。それで論文にベトナムでのレスリングと相撲を比べる。

以下の内容を明らかにしなければならない。

- 一つ目：概要

—相撲の呼び方の<sup>きげん</sup>起源

—相撲の歴史

- 二つ目：相撲になる条件
  - 一力士になるために必要な条件と手続きを詳細に分析する。
- 三つ目：相撲の番付
- 四つ目：相撲の生活
  - 食事や日のスケジュールや訓練や衣装や力士の髪の毛など紹介する。
- 五つ目：相撲の試合
  - 一同士
  - 一相撲の基本ルール
  - 一試合の前後の<sup>しよさ</sup>所作
  - 一試合を観戦する方法
  - 一日の試合
  - いくつかの有名な相撲
- 六つ目：ベトナムのレスリングの対照



写真1：相撲の紹介

# 内容

## I. 概要

### 1. 相撲の呼び方の起源

相撲の根底は日本だ。競争するとき二人の力士が土俵上で取り組み相手を押し下したりなげたりする競技だ。対戦相手をサークルから押し出すか、対戦相手の体のどの部分も足以外の地面に触れさせて勝つ。

とくべつなのは、相撲はじょせいがぜったいにさんかできない。1940年ねん以前いぜんは、女性じょせいは相撲すもう大会たいかいを観戦かんせんするようになり、男性だんせいよりも高いたかい値段ねだんを払わはらわなければならない。

相撲は神話の時代に始まるが、江戸時代に流行った。現代の日本においては、日本相撲協会が主催する有名なスポーツイベントである。相撲は日本固有の宗教である神道に基づいた神事であり、日本国内各地で「祭り」として奉納相撲が行われている。そのため、大相撲も他のプロスポーツと比べて礼儀作法などが重視されており、生活様式や風貌なども旧来の風俗が比較的維持されるなど、文化的な側面もある。

昔、すもうは「すまひ」と呼ばれることが多かったが、「すもう」に変変わった。表記としては「角力」、「掬力」、「角觥」（江戸時代において一部で使用）。これらの言葉はもともと「力くらべ」を指す。それを「すもう」の漢字に適用される。19世紀から20世紀初頭までは「すもう」は「角力」と表記されることが多かった。古代には手乞（て

ごい) とも呼ばれていたと言う説も<sup>1</sup>ある。(手乞とは、相撲の別名で、  
対戦相手の手を掴む、または素手で対戦する事を意味する。)

相撲の参加者の正式名は「力士」(りきし)と呼ばれ、また「相撲取り」や「お相撲さん」の通常で知られている。

英語では「sumo (スモウ)」または「sumo-wrestling (スモウ・レスリング)」と表記される。

なお、日本で藏合格闘技的のような競技はしばしば相撲と呼ぶ。  
例えば腕相撲、足相撲、指相撲、拳相撲、草相撲などがある。他に、  
紙相撲がある。

## 2. 歴史

ja.wikipedia のページによると、相撲の歴史をよくより理解する。

### 古代

日本における相撲の記録の最古は、『古事記』の葦原中国平定の  
件で、建御雷神(タケミカツチ)の派遣に対して、出雲の建御名方神  
(タケミナカタ)が、「然欲爲力競」と言った後タケミカツチの腕を掴  
んで投げようとした描写がある。逆にタケミカツチはタケミナカタの  
手を葦のように握り潰してしまい、勝負にならなかったとあり、これが  
相撲の起源とされている。

7月7日(旧暦)にある野見宿禰と「當麻蹶速」(当麻蹶速)の  
「掬力)での戦いがある(これは柔道の起源ともされている)。当時  
の相撲は打撃を主とする格闘技であり、相手にトドメの命を奪うために  
トドメの一撃を使う。当時の相撲は明らかに武道と見なされている。



奈良時代から平安時代にかけて、<sup>きゆうちゆう</sup>宮中行事の一つとして相撲節会が毎年7月頃に行われるようになる。毎年40人ほどの強者が近衛府により<sup>せんぱつ</sup>選抜され、<sup>きゆうちゆう</sup>宮中で天覧相撲をとった。<sup>すもうせちえ</sup>相撲節会は当初は七夕の宮中行事の余興としての位置づけであった。時間が経つにつれて、相撲節会は大切なイベントである。

## 中世

<sup>すもうせちえ</sup>相撲節会に求められていた<sup>じっせんてき</sup>実践的な意味での相撲は、武士時代に広まった。これを<sup>ぶけ</sup>武家相撲という。武士の棟梁となった源頼朝は特に相撲を好み、鎌倉を中心に相撲が盛んに行われた。

<sup>つづ</sup>続く<sup>むろまちぼくふ</sup>室町幕府は、相撲の<sup>しょうらい</sup>奨励には消極的であった。また、<sup>いこうみやこお</sup>応仁の乱以降都落ちをした貴族とともに京都の相撲文化が地方に伝わり、<sup>みんしゆう</sup>民衆の間に相撲が定着、相撲を生業とするものが現れる。これを土地相撲、または「草相撲」という。

## 近世

江戸時代に入ると<sup>はい</sup>武家相撲はその<sup>ぶけずもう</sup>存在意義を<sup>そんざいいぎ</sup>失い、<sup>うしな</sup>土地相撲が<sup>とちずもう</sup>興行化して<sup>こうぎょうか</sup>民衆<sup>みんしゆう</sup>一般に<sup>ひろ</sup>広がる。<sup>こうぎょうしゆ</sup>興行主はこれを<sup>しんじずもう</sup>神事相撲の「<sup>しん</sup>勧進」に<sup>ことよせて</sup>ことよせて<sup>しょう</sup>勧進相撲と<sup>ぶけずもう</sup>称し、また<sup>りきし</sup>武家相撲も<sup>だいみょう</sup>力士を<sup>なごり</sup>大名の抱えとする<sup>ことよ</sup>ことでその<sup>なごり</sup>名残をとどめた。

<sup>だいしょうぐん</sup>11代将軍<sup>じだい</sup>徳川家斉の時代になると、<sup>じょうらんずもう</sup>上覧相撲<sup>きっかけ</sup>きっかけとなり<sup>みんかんじん</sup>民間人のための<sup>ごらく</sup>娯楽としてさらに<sup>りゅうせい</sup>隆盛する。「<sup>かんじんずもう</sup>勧進相撲」は<sup>じんじゃぶつかく</sup>神社仏閣<sup>こんりゆう</sup>の<sup>しゅうぜん</sup>建立・<sup>しきん</sup>修繕などの<sup>きしん</sup>資金として<sup>すす</sup>寄進を<sup>こうぎょう</sup>勧めるための<sup>こうぎょう</sup>興行から、<sup>しよくぎょうずもう</sup>職業相撲としての<sup>えいりてきこうぎょう</sup>営利的興行へと<sup>へんか</sup>変化する。<sup>えどずもう</sup>江戸相撲は<sup>おうごんき</sup>黄金期を<sup>むか</sup>迎え

た天保 4 年（1833 年）には勧進大相撲が一大歓楽地であった両国を定場所とした。

## 近代

明治の文明開化で相撲をはじめとする伝統芸能は軒並み危機に陥るが、明治天皇の天覧相撲が繰り返されるなどによりその命脈を保つ。大正 14 年（1925 年）には幕内最高優勝者に授与される天皇賜杯が下賜され、また東京相撲と大阪相撲が合併することにより日本相撲協会が誕生、勧進相撲は大相撲に一本化された。

平成に入って、日本ビーチ相撲連盟というアマチュアの組織が結成された。また、義務教育に武道必修化の必修科目として、相撲・剣道・柔道の三種を基本として加味された。

「大相撲」とは、公益財団法人日本相撲協会が主催する「相撲」のプロ興行である。1958 以降は隔月で年間 6 場所行われている。一月場所(初場所)、三月場所(春場所)、五月場所(夏場所)、七月場所(名古屋場所)、九月場所(秋場所)、十一月場所(九州場所)と年 6 回開催されている。奇数月に 15 日間開催されている。「大相撲」に出場する力士は、日本相撲協会から給与を得る給与所得者で、本場所での結果に基づいて力士の順位表である「番付」の昇降がある。これに給与や褒賞金の昇降も伴う。

## II. 相撲力士になるには

### 1. 力士になるための3条件

力士になるには、以下の3つの条件を満たす必要がある。

- 23歳未満である。
- 義務教育を完遂する。
- 身長 167センチ、体重 67キロ以上である。

あなたが力士のもっと重い重量を不思議に思っているならば、答えはほぼ 300 キロである。Emmanuel Yarbrough (エマニュエル・ヤーブロー) という力士は、現在約 300 キロと最も重い、有名な相撲ボクサーである。この重さでギネスブックで世界でもっと重いアスリートとして認められる。

それに相撲になるために日本の相撲界の人々の推薦を受けなければならぬ

それだけでなく、力士は良おいから来なければならない。

毎年約 80 パーセントが失格となる。重量は簡単に増加するが、高さは増えにくいである。誰もが身長 167 センチとは限らない。Spaia のページによると一部の人は高さを上げるためにあらゆる手段をしようした。舞の海は頭にシリコンを埋めて身長を高くして、合格したそうだ。しかし、シリコンを頭に埋めることが健康に有害だ。シリコンがダメなら次は何か。たんこぶだ。同じ部屋の力士に頭を殴ってもらい、大きなたんこぶを作って検査を突破した。たんこぶでも足りないという場合は、髪を結ってギチギチに固めた。たんこぶ+髪の毛のカサ増しで合格した人がいるとのこと。たんこぶはわかるが、髪の毛もカウントされるとはオドロキだ

女性は相撲になることができない。相撲界では男性だけが相撲になることができ、女性は相撲になれないので。

力士は宿泊、練習、競争の費用を心配する必要がない。生活費は協会を通じて日本の大企業が主催しているためである。力士が必要とするのは、忍耐力、夢を追い求める決意、そして困難な訓練プロセスを克服する意志である。

## 2. 相撲になる手続き

親方から許可をもらったら、以下の種類を日本相撲協会に以下の書類を提出する。

- 力士届け
- 親権者の承諾書
- 戸籍謄本、または戸籍抄本
- 健康診断書（医師が発行したもの）

次は「新弟子検査」を受けるためには必要なことがある。検査は毎年何度も行われている。それは健康診断である。例えばビジョンとかスピードとか持久力などの健康テストである。この検査に合格しないと、相撲になれない。

外国人も力士になることができる。手続きは日本人と同じである。ただし、保証人の署名が必要である。つぎ、協会検査を受ける必要がある。検査に合格したら、外国人登録証明書を協会に送信することになっている。しかし、外国人はいくつかの困難である。相撲大会に出場

がいにこくじんりきし にほん す にほんご はな  
する外国人力士は日本に住んでいて、日本語を話し、日本の文化を習得  
しているが、それでも文化的背景は異なる。

すもう にほん  
昔、相撲は日本のスポーツだった。しかし、ねんだいいこう かいがい  
で生まれた力士の数はじょじょにふえてきた。この時期のはじめには  
にほんじん  
日本人として外国人力士が数名出てきたが、とくに 1960 ねん代以降、  
外国人力士が有名になり、きんねん さいこうとうきゅう しはい おおぜき しょうかく  
近年で最高等級でも支配する。大関に昇格  
さいご りきし はんぶん がいこくじん にほんじんりきし ねん  
した最後の6人の力士の半分は外国人であり、日本人力士は1998年から  
ねん きせ さと ひろし こうげき  
2017年に「稀勢の里 寛」が攻撃するまでよこずなになることを許可さ  
れていなかった。これ他の問題最終てきにすもうきょうかい つく  
かくがっしゆく きよか がいこくじん かず せいげん  
各合宿でのトレーニングが許可される外国人の数が制限される。

### III. 相撲の番付

大相撲に出場する力士は番付がある。番付けとは、力士の階級を表す一覧表である。相撲の世界には階級の期別。上級は下級よりも多くの利点がある。下級はとても大変である。各等級は特自のルールがある。等級を達成することは容易ではない。ここでは、相撲の等級を詳細に分析して、人々がより理解できるようにする。

spaia.jp の研究によると、<sup>ばんづけひょう</sup> 番付表は<sup>りきし</sup> 力士のランキングリストである。<sup>げんざい</sup> 現在の<sup>おおずもう</sup> 大相撲では、<sup>ばんづけ</sup> 番付には<sup>6</sup> 6つの<sup>かいきゅう</sup> 階級と <sup>かくづ</sup> 10種類の格付けがある。<sup>かいきゅう</sup> 階級は上から<sup>うえ</sup> 幕内、<sup>まくうち</sup> 十両、幕下、三段目、序二段、序ノ口の 6 つだ。これらの 6 の階級は、関取と呼ばれる。幕内ではさらに上から横綱、大関、関脇、小結、前頭と 5 つの格付けがある。力士養成員と呼ばれる。

| 地位        |     | 定員   |              |
|-----------|-----|------|--------------|
| 関取        | 幕内  | 横綱   | なし           |
|           |     | 大関   | なし（下限<br>2名） |
|           |     | 関脇   | なし（下限<br>2名） |
|           |     | 小結   | なし（下限<br>2名） |
|           |     | 前頭   | なし           |
|           | 十両  | 28名  |              |
| 力士養成<br>員 | 幕下  | 120名 |              |
|           | 三段目 | 200名 |              |
|           | 序二段 | 不定   |              |
|           | 序ノ口 | 不定   |              |
|           | 番付外 | 不定   |              |

一覧表 1：現行の番付の地位一覧

番付表は大相撲の世界をまとめた便利な一枚だと言える。

— 番付表は常に最新の結果で更新される。

— この区分は、試合の結果だけでなく、包括的な評価に基づいている。違いは紙上の表記に反映される。格が上の力士ほど字が大きく、図面が美しい。

— 番付は東西に分かれている。古代には東が支配的であると考えられていたが、現在、同じ強さの力士が東と西に対象的に配置されている。

## 1. 関取

### 横綱

— この階級に到達するには、相撲力士は非常に安定した記録をもっている必要がある。横綱への昇格の基準は、大関または同等のランクで2試合連続で勝利することである。

— 上訴審議会が力士を横綱に昇格させることを決定した場合、理事長は上訴委員会の理事の要請により横審に諮問である。横審は力士がよこずなに適しているかどうかを確認する。その上、横審は力士の質を慎重に考慮する。理事長は横審の報告を聞いた後、理事会を招集し、推進するかどうかを決定する。現在までの相撲の歴史は1500年以上ですが、よこずなには67にんしかランクインしていない。

— よこずなに昇格したレスラーは引退するまで格下げされない。



## 大関

さんやく うえ た おおぜき な ゆらい だいせきとり そうりついでん  
三役の上に立つのが大関。その名の由来は「大関取」創立以前の  
さいこうらんく せきとり なづ おおぜき しょうしん  
最高ランクであるお関取にちなんで名付けられた。。大関に昇進する  
ためには「3場所連続で三役（関脇・小結）の地位で、その通算の勝ち  
ぼし しょういじょう きじゆん  
星が33勝以上」という基準がある。

たくさん試合がうまくいかない場合、2の連続した場所で負けると  
おおぜき せきわけ こうかく どま つぎ ばしよ か どぼん よ  
大関から関脇に降格する。1度負けると次の場所では「カド番」と呼ば  
れ、かつと次の場所では「カド番脱出」となる。規則上は番付の東西  
かに1人ずついなければならないが、大関が1人のみの場合は横綱が  
よこづな おおぜき ばあい よこづな  
「横綱大関」としてその役割を担う。よこづな階級になるまえに、  
おおぜき すもう さいこうい  
大関は相撲の最高位だった。

## 十両

つぎ じゅうりょう さいだいしゅうようになずう めい えどじだい  
次は十両である。最大収容人数は28名である。江戸時代が  
じゅうりょう かいきゅう どうじょう めいじ はい まくした じょうい いいない  
十両の階級は登場していない。明治に入り、幕下の上位10位以内の  
きゅうよ しきゅう せいしきめいしょう  
力士に給与が支給するようになる。正式名称は「十枚目」である。

十両に昇格した場合、幕下に比べて多くの変化がある。十両の階級は月給がもらえる。100万円以上である。彼らは大銀杏（おおいちよう）を結って結婚することができる。

## 関脇

これは、多くの連続したトーナメントで負けよりも勝ちが多い相撲の階級である。またはトーナメントが必要なだけですが、勝利の多く、

通常<sup>つうじょう</sup>10勝<sup>しょう</sup>以上<sup>いじょう</sup>。大関<sup>おおぜき</sup>と同様に<sup>どうよう</sup>、関脇<sup>せきわけ</sup>がたくさん<sup>しあい</sup>試合<sup>しあい</sup>がうまくいかない  
場合<sup>ばあい</sup>、順位<sup>じゆんい</sup>は下がり<sup>さ</sup>、小結<sup>こむすび</sup>に戻る<sup>もど</sup>になっている。

## 小結

自分<sup>じぶん</sup>より上位<sup>じょうい</sup>の選手<sup>せんしゆ</sup>に10-11勝<sup>しょう</sup>または前頭<sup>まえがしらせんしゆ</sup>選手<sup>じゆんい</sup>の順位<sup>じゆんい</sup>ある。

## 前頭

5階級<sup>かいきゅう</sup>以上<sup>いじょう</sup>の中で最も<sup>たいてい</sup>低い階級<sup>かいきゅう</sup>である。。

## 2. 力士養成員<sup>りきしょうせいいん</sup>

序ノ口<sup>じょのくち</sup>、序二段<sup>じょにだん</sup>、三段目<sup>さんだんめ</sup>、幕下<sup>まくげ</sup>。この4つの階級<sup>かいきゅう</sup>に所属<sup>しよぞく</sup>する力士<sup>りきし</sup>  
を「力士養成員<sup>りきしょうせいいん</sup>」と呼ぶ<sup>よ</sup>。十両<sup>じゅうりょう</sup>、幕内<sup>まくうち</sup>の階級<sup>かいきゅう</sup>の力士<sup>りきし</sup>を「関取<sup>せきとり</sup>」と呼  
ぶ。とてもちがう。番付表<sup>ばんづけひょう</sup>の上<sup>うへ</sup>にもその違い<sup>ちがひ</sup>が顕著<sup>けんちやく</sup>に表<sup>あらわ</sup>れている。こ  
の4つの階級<sup>かいきゅう</sup>は給料<sup>きゅうりょう</sup>がない。相撲<sup>すもう</sup>の部屋<sup>へや</sup>にたくさん仕事<sup>しごと</sup>をしなければ  
ならない。

序ノ口<sup>じょのくち</sup>の上<sup>うへ</sup>に書<sup>か</sup>かれるのが序二段<sup>じょにだん</sup>、三段目<sup>さんだんめ</sup>。その上<sup>うへ</sup>にあるのが幕  
下<sup>まくげ</sup>。「幕内<sup>まくうち</sup>の下<sup>した</sup>」という意味<sup>いみ</sup>だが、現在<sup>いま</sup>は幕下<sup>まくげ</sup>と幕内<sup>まくうち</sup>の間に十両<sup>じゅうりょう</sup>という  
階級<sup>かいきゅう</sup>がある。江戸時代<sup>えどじだい</sup>には十両<sup>じゅうりょう</sup>は存在<sup>そんざい</sup>しなかった。

昇進<sup>しょうしん</sup>及び<sup>および</sup>陥落<sup>かんらく</sup>については、以下<sup>いかに</sup>の規定<sup>きてい</sup>、また昇進<sup>しょうしん</sup>確実<sup>かくじつ</sup>とされる  
状<sup>じょう</sup>況<sup>きやう</sup>が存在<sup>そんざい</sup>する。

- 幕下<sup>まくげ</sup>最初<sup>さいしょ</sup>の15ラウンド7戦<sup>せん</sup>全勝<sup>ぜんしょう</sup>した力士<sup>りきし</sup>は、十両<sup>じゅうりょう</sup>に昇格<sup>しょうかく</sup>  
される。
- 東幕下<sup>ひがしまく</sup>筆頭<sup>ひつとう</sup>で勝ち越<sup>かこ</sup>した力士<sup>りきし</sup>は、十両<sup>じゅうりょう</sup>に昇格<sup>しょうかく</sup>される。
- 幕下<sup>まくげ</sup>の16枚目<sup>まいめ</sup>以下<sup>いげ</sup>で7勝<sup>しょう</sup>した力士<sup>りきし</sup>は、翌場所<sup>あしたばしよ</sup>の番付<sup>ばんぷい</sup>は幕下<sup>まくげ</sup>  
の15枚目<sup>まいめ</sup>以内<sup>い以内</sup>となる。

- 三段目以下で7した力士は、1上の段に昇進する。
  - <sup>ばんづけがい</sup> 番付外から<sup>じよ</sup> 序ノ口への<sup>しょうしん</sup> 昇進（<sup>しゅっせ</sup> 出世）は、1番でも<sup>まえずもう</sup> 前相撲を取<sup>と</sup>った力士（<sup>りきし</sup> 全休力士以外）が<sup>ぜんいんたいしやう</sup> 全員対象となる。
  - 序ノ口から番付外への陥落は、全休力士のみが対象となる。
- <sup>つぎ</sup> 次のトーナメントの<sup>しょうかく</sup> 昇格と<sup>こうかく</sup> 降格は<sup>りきし</sup> 力士の15日間のスコアによって決まる。<sup>じやういぶん</sup> 上位分では<sup>か</sup> 勝ち越しという用語は、<sup>こ</sup> 8~7以上のスコアである。<sup>ま</sup> 負け越しとは<sup>こ</sup> 対象的に<sup>たいしやうてき</sup> 7~8以下のスコアを意味する。<sup>い</sup> 勝ち越しを<sup>い</sup> 達成した力士は、<sup>か</sup> ほとんどの場合、さらに<sup>こ</sup> 昇格し、スコアが高ければ<sup>たっせい</sup> 昇格<sup>りきし</sup> レベルが<sup>ばあい</sup> 高くなる。<sup>しょうかく</sup>

## IV. 相撲の日常生活

### 1. 相撲の一日

私は相撲に研究したことがなかったので、大きくの体だけが競争できると思った。それではない。相撲は大変な一日を過ごさなければならない。彼らは体重を増やし、健康を保つために練習しなければならない。練習を受けることは競争することができる。

十両以上になれば結婚をしたり相撲部屋の外に住むこともできますが、幕下以下は相撲部屋で集団生活をしなくてはならない。

相撲部屋では稽古の時間をはじめ、食事や入浴の時間などもある程度決められているため、規則正しい生活を送ることになる。

厳格に規制された生活を送る相撲取り。相撲協会はレスラーのいくつかの行為をきせいする。たとえばきょうかいはレスラーが車をうんでんすることをきんしているが、これはひつようはない。

合宿では相撲の階級に応じた差別があります。低ランクは朝 5 時ごろにおきななければならない、関取は 7 じに開始できる。関取が練習する間、若い力士は昼食の手伝い、お風呂の掃除などことをすることがある。力士は通常朝食を食べることができず、大きな昼食がある。

ハードな練習だけでなく、体重を増やすには特別な食事をたくさん食べる必要がある。

力士の食事のメインコースはちゃんこ鍋だ。この料理は多くの材料とスパイスを混ぜた鍋のようなものだ、柔らかくなるまで煮込ん

だ。実際、<sup>じっさい</sup>牛肉、<sup>ぎゅうにく</sup>豚肉、<sup>ぶたにく</sup>鶏肉、<sup>とりにく</sup>海産物、<sup>かいさんぶつ</sup>野菜など、<sup>やさい</sup>鍋にいれることができる多くの成分がある。肉、魚、野菜など多くの<sup>しょくざい</sup>食材を一度に食べられて<sup>えいよう</sup>栄養のバランスがいい。

多くの相撲は 5 キロまでの肉、10 ボウルのご飯を 1 食で食べることができません。力士の<sup>へいきんてき</sup>平均的な食事は 8000 カロリーに達し、普通の人<sup>すうひやく</sup>の 10 倍だ。一部の相撲は最初はやく 65 キロだったが、その<sup>ぞうか</sup>数百キロ増加した。

力士は<sup>りきし</sup>ちゃんこ鍋<sup>なべいがい</sup>以外<sup>た</sup>を食べることもある。力士の食事は 1 日 2 回が<sup>ばんてき</sup>一般的で、1 回目が 11 時頃、2 回目は 18 時から 19 時くらいが一般的となっている。

とくに夕食時にはカレー、ラーメン、ステーキなどの方の料理をもっている。さらに、寝る前に数人の力士はご飯とスナックを食べることができ。

彼らはまた、<sup>はくまい</sup>白米<sup>やく</sup>の約 5-10 ボウルを食べ、食事で約 2.8 リットルのビールを飲む（2.8 ミリリットルのビールは体内に 1200 カロリー含まむと、<sup>からだ</sup>コリチゾール<sup>しぼう</sup>のレベル<sup>はや</sup>が上がり、<sup>はやく</sup>体がお腹の脂肪をより早く<sup>たくわ</sup>蓄えるようになる。それだけでなく力士はめったに一人たべず、いっしょに食べる。研究者によると、多くの<sup>ひと</sup>人といっしょに<sup>しょくじ</sup>食事をすると、<sup>しょくじ</sup>食事のサイズが<sup>つうじょう</sup>通常より 44 パーセント大きくなり、カロリーと脂肪の摂取量も 30 パーセン増加するためである。

ちゃんこ料理は、相撲部屋の幕下以下の力士が担当する。相撲部屋で料理をする人は「ちゃんこ番」と呼ばれる。メニューや香辛料はちゃんこ鍋によって違う。

料理は回転がある。（相撲部屋の調理順序は異なる）。今日はこの力士はつくる。明日は別の力士になる。

メニューや香辛料はちゃんこ鍋によって違う。

最高ランクの力士は最初に食べる。まず関取から食べる。低ランクの力士は後で食べる。関取のために食べ物を出す若い力士がいつもいる。

後で食べる人は食べるものはなくなる。とても大変である

普通力士は太りたいなら食べてから寝る。約 4 時間昼寝する。食べてすぐにねるとすぐに体が簡単にふとる。時々睡眠中に酸素ボトルを着用して呼吸を助ける。



写真 2：相撲の食事

午後には若い力士は片付けをすることがよくありますが、関取はリラックスしたり、クラブ関連の問題を解決したりできる。よる、関取は外に出ることができ、低ランクは外に出ることはできない。

がっしゆく しゅじん いっしょ そと で  
合宿の主人が一緒にいるときだけ外に出ることができる。関取は付  
け人がいる。

きび くんれんたいせい ひと りきし ゆめ  
厳しい訓練体制のため、たくさん人は力士になる夢をあきらめ  
ざるをとくない。

じょうき しょうさい ぶんせき つう すもう りきし くんれん ひじょう  
上記の詳細な分析を通じて、相撲力士の訓練プロセスは非常に  
ひさん わ かれ ゆうかん ねば つよ きんべん  
悲惨であることが分かった。彼らは勇敢で粘り強く勤勉な人でなけれ  
ばならないことを示している。勇敢でなければ人々は訓練プロセスを  
こくふく すもう だれ  
克服することができない。相撲になることは誰もができるわけではな  
い。だから相撲になることは誇りである。

か ど うんどう おお わる けっか としうえ きんにく  
過度の運動も多くの悪い結果をもたらす。年上のとき、筋肉  
や関節に飽きるかもしれない。

つうじょうながい しょうめい  
多くの医者は、相撲は通常長生きしないことを証明している。  
はや た た りきし たし からだ わる かれ てきせつ  
速く食べてたくさん食べる力士は確かに体に悪い。彼らは適切な  
しょくじほうほう つうじょう ひと へいきんよめい  
食事方法が 60 なければ、通常の人と比較して、平均余命が短くなる。  
相撲力士は 65 歳まで、日本人の平均的な男性よりも

10 年短くなっている。これは、食事と運動が力士の体に害を及  
ぼすためである。彼らは引退するとき、彼らは心臓病や血圧に苦し  
むかもしれない。

以下にすもうの 1 日のスケジュールを紹介する。

6:00 起床

すもう べや にゅうもん りきし お  
相撲部屋によっては、入門したての力士は 5 じから起きることが  
できる。

こじん えいせいじょうたい あと ちょうしょく た どひょう く  
個人の衛生状態の後、朝食は食べないで、すぐに土俵に来る。

6:30 稽古開始

どひょう じゅんび けいこ はじ  
土俵を準備してから稽古を始める。

しこ あし きほんどうさ すた と  
まずは四股やすり足などの基本動作からスタートし、ぶつかり  
けいこ もう あ おこな  
稽古や申し合いなどを行っていく。



真 3：相撲の練習

みとりけいこ  
9:00見取稽古

せきとり けいこ はじ けいこ み けいけん まな  
関取の稽古が始まったら、その稽古を見て経験を学ぶ。

11:30 風呂へ

トレーニングが終わったら入浴の時間だ。じょうい りきし さいしょ あ  
上位の力士は最初に浴  
びるつぎは下位は浴びる。

数人の力士は料理を作って掃除する。

12:00 食事

食事も親方や関取から食べ始める。

食べ終わったらお皿を洗う。

13:00 自由時間



昼やトレーニングをして過ごすことが多い。

16:00 ちゃんこ番

へ や げんかん ぼうじ しょうじ つく  
部屋や玄関などの掃除をしてから、食事を作る。

18:00 食事

食事は基本的に1日2回です。関取は最初食べる。

19:00 自由時間

食事の片付けをしたら、つかの間の自由時間だ。

しょうとう  
23:00 消灯

よくじつ けいこ ふくしゅう  
翌日の稽古に復習して早くねる。

## 2. 力士の髪型

### 2.1 髪の種類について

すもう せかい だれ まげ こと  
相撲の世界では、誰もが髷をもっている。ランクには異なるヘア  
スタイルがある。髷は「大銀杏」と「ちょんまげ」の2種類がある。  
相撲はしばしばちょんまげをしている。しかし、十両以上の力士になると、重要なイベントに参加する時に「大銀杏」をする。

おおいちよう み ひとびと おおいちようまげ よ  
大銀杏のように見えるので、人々はそれを「大銀杏髷」と呼ぶ。

かれ かみ はじ あ いんしょう あた  
彼らの髪は始めて会ったときからとても印象を与える。

## 2.2 力士の髪の毛は地毛

すもう つうじょう ほんもの かみ つか まげ かみ みじか  
相撲は通常、本物の髪を使って髷をしている。髪が短ければ  
おおいちようまげ  
大銀杏髷をすることができません。それで相撲は髪の長さが 40 センチ  
—45 センチでなければならない。髪が短かすぎて薄いばあいは付け毛を  
しょうひつよう  
使用必要がある。

おおいちようまげ とうちようぶ かみ け  
また大銀杏髷をするには頭頂部の髪の毛がじゃまになることから、  
そ  
剃ることができる。

## 2.3 髪の毛の手入れ

すもう とこやま よ りきし かみ け てい しごと  
相撲はいつも「床山」と呼ばれる力士の髪の毛を手入れ仕事をも  
らっている。「床山」はしばしば力士のような相撲部屋に住んでいる。  
りきし かみ むす まか  
かれらは力士に髪を結ぶことを任されている。

りきし つうじょうかみ にち しゅうかん いちど あら かれ  
力士は通常髪を 3日から 1週間に一度くらい洗っている。彼らは  
びんつ  
「鬢付け」と呼ばれる特別なシャンプーを使用している。このシャンプ  
あぶら へ  
ーは油を減らすことができる。

## 3. 相撲の衣装

いしょう しゅるい ひんしつ りきし いぞん かきゅうりきし ふゆ  
衣装の種類と品質は力士のランクに依存する。下級力士は冬でも  
ゆかた よ わた き  
浴衣と呼ばれる綿のケープしか着きられない。さらに外出するとき、か  
げ た よ とくべつ しゅるい もくせい ちやくよう ひつよう  
れらは下駄と呼ばれる特別な種類の木製サンダルを着用する必要があ  
まくした りきし ゆかた うえ でんとうてき  
る。幕下と三段目の力士は、浴衣の上に伝統的なショートコートをきて、  
ぞうり よ わらじ  
草履と呼ばれる草鞋をはくことができる。

ランクの<sup>たか</sup>高い<sup>せきとり</sup>関取は<sup>きぬ</sup>絹の<sup>いしやう</sup>ローブを<sup>ひんせつ</sup>きる<sup>しやうさい</sup>ことができ、<sup>ひんせつ</sup>衣装の<sup>しやうさい</sup>品説が<sup>こうじやう</sup>向上<sup>かれ</sup>だ。<sup>せいしき</sup>彼らは<sup>きかい</sup>正式な<sup>よ</sup>機会<sup>しやうさい</sup>におい<sup>しやうさい</sup>ちやうと<sup>しやうさい</sup>呼ばれる<sup>しやうさい</sup>より<sup>しやうさい</sup>詳細な<sup>しやうさい</sup>ローブ<sup>しやうさい</sup>を<sup>しやうさい</sup>きる<sup>しやうさい</sup>ことができる。



写真 4 : 相撲の衣装

## 4. 相撲の給料

### 4.1 横綱～十両の給料

大相撲というプロの相撲になると給与がる。大相相撲はたくさん<sup>とうきゆう</sup>等級<sup>わ</sup>に分かれています。等級ごとに<sup>とうきゆう</sup>給料<sup>きゆうりやう</sup>が<sup>こと</sup>異なる。関取の<sup>せきとり</sup>年収<sup>ねんしゆう</sup>は、<sup>まんえん</sup>1,700～9,000万円と、<sup>たか</sup>とても<sup>とうきゆう</sup>高い。等級<sup>たか</sup>が高いほど、<sup>きゆうりやう</sup>給料<sup>たか</sup>も高くなる。だからこそ、<sup>にほん</sup>日本の<sup>おお</sup>多くの<sup>しょうじよ</sup>少女<sup>りきし</sup>は<sup>けっこん</sup>力士と<sup>かれ</sup>結婚<sup>か</sup>したいのである。彼らは<sup>かね</sup>お金を<sup>しんぱい</sup>心配<sup>ひつよう</sup>する必要がある。ここでは力士の給料について詳しく紹介する。career-picks.com のページによると、私は力士の<sup>とくてい</sup>特定の<sup>きゆうよ</sup>給与の<sup>しやうさい</sup>詳細<sup>まな</sup>を<sup>まな</sup>学ぶことができる。会社員と同様に<sup>かいしゃいん</sup>力士<sup>どうよう</sup>の<sup>りきし</sup>給与<sup>きゆうよ</sup>体系<sup>たいけい</sup>は、<sup>きほんきゆう</sup>「基本給<sup>しよてあて</sup>+諸手当」だ。このサイトの<sup>とうけいじやうほう</sup>統計情報<sup>しゆとく</sup>も取得<sup>しよとく</sup>している。

「力士」の給料は、日本相撲協会から支給されている。  
各相撲部屋からの支給ではない。十両以上は月給制で幕下は月給が  
でない。2019年1月から、18年ぶりに給与が改定された。

#### 4.1.1 諸手当の種類

手当に該当するものは、本場所手当・出張手当・力士補助金・  
力士褒賞金がある。

- 本場所手当

3役以上の力士に本場所ごとに支給される手当。年6回支給。  
欠場した場合は減額される。

横綱：20万円

大関：15万円

関脇・小結：5万円

- 出張手当

3月・7月・11月に、それぞれ35日分支給される。

横綱：宿泊費 8,000円 日当：3,000円

関脇：宿泊費 7,500円 日当：2,000円

三役：宿泊費 6,500円 日当：1,600円

平幕：宿泊費 5,700円 日当：1,400円

十両：宿泊費 5,300円 日当：1,200円

- 力士補助金

1月・5月・9月に、髪結の補助金として支給される。横綱から十両まで一律 25,000 円。

- <sup>りきしほうしょうきん</sup>  
力士褒賞金

<sup>せいせき</sup>成績により <sup>うけと</sup>受取れる <sup>しょうきん</sup>賞金。力士の <sup>りきし</sup>地位と <sup>ちい</sup>成績によって、  
<sup>しきゅうきんがく</sup>支給金額が <sup>ちが</sup>違う。

| 番付             | 横綱      | 大関          | 関脇.小結       | 前頭（平幕）     | 十両          |
|----------------|---------|-------------|-------------|------------|-------------|
| 月給             | 300万円   | 250万円       | 180万円       | 140万円      | 110万円       |
| 年額給与           | 3,600万円 | 3,000万円     | 2,160万円     | 1,680万円    | 1,320万円     |
| 賞与（年2回）        | 600万円   | 500万円       | 360万円       | 280万円      | 220万円       |
| 本場所特別手当        | 120万円   | 90万円        | 30万円        | 無し         | 無し          |
| 出張手当           | 115万5千円 | 99万7500円    | 85万500円     | 74万5500円   | 68万2500円    |
| 力士補助金          | 7万5千円   | 7万5千円       | 7万5千円       | 7万5千円      | 7万5千円       |
| 力士褒賞金（最低支給標準額） | 360万円   | 240万円       | 144万円       | 144万円      | 96万円        |
| 合格             | 4,803万円 | 3,937万2500円 | 2,786万5500円 | 2,186万500円 | 1,711万7500円 |

一覧表 2：相撲の給料

#### 4.1.2 「力士褒賞金」

「力士褒賞金」とは、簡単に言うと「成績に応じた特別ボーナス」である。実際に支給されるのは、関取だけですが、すべての力士がこうりよされる。力士の力士褒賞金は高い。

かくとうきゆう 各等級によってボーナスが違せきとりう。関取じゅうりょういじょう（十両以上）になるま  
で支給しきゆうはされないつので、それまでは積む。

りきしほうしょうきん きんがく  
「力士褒賞金」の金額を決めるには、以下の3つの特徴がある。

- 成績と地位によって決まる
- 褒賞金の計算方法
- 加算式で減額はない

それでは「力士褒賞金」について詳しく解説していく。

成績と地位によって決まる

それぞれの地位によって最低額を保証しています。

- 横綱：150円
- 大関：100円
- 幕内：60円
- 十両：40円
- 幕下以下：3円

褒賞金の計算方法

一部の人々は相撲の給料を計算する方法を知らない、これは方法である。

褒賞金は本場所ごとの成績に応じて加算されていく仕組みです。

か こ おう きんがく か き さだ  
勝ち越こしにおう応じた金額は下記のように定められており、  
しきゆうひょうじゆんがく い すもう しょうはいおもて か  
「支給標準額」と言います。相撲などの勝敗表に、勝ったほうにつ  
けるしろ まる白い丸。白星しろぼし。転じて、勝負しょうぶに勝つこと。「勝ち星か ぼしをあげる」

- 勝ち星一つ：0.5円（50銭）

- <sup>きんせい</sup>金星：10円
- <sup>まくうちゆうしょう</sup>幕内優勝：30円
- <sup>まくうちぜんしょうゆうしょう</sup>幕内全勝優勝：50円

実際に支給されるのは、上記の金額に 4,000 倍した額になる。この方法に頼れば、<sup>じぶん りきし きゅうよ けいさん</sup>自分は力士の給与も計算できる。

たとえば<sup>たと</sup>幕内全勝優勝すると、50円×4,000倍=200,000なので、20万円が支給されることになる。

<sup>かさんしき げんがく</sup>加算式で減額はない

<sup>りきしほうしょうきん せいせき よ しきゅうがく ふ せいせき わる</sup>力士褒賞金は、成績が良ければ支給額は増えていき、成績が悪い<sup>ばあい</sup>場合でも減ることはない。

ただし、<sup>う と</sup>受け取るためには十両以上の地位を<sup>かくほ</sup>確保していなければならない。

「<sup>せいせき わる ばあい</sup>成績が悪い場合でも減ることはない」<sup>かさん</sup>加算のみの力士褒賞金ですが、<sup>こうかく げんがく ばあい</sup>降格したときに減額になる場合がある。

<sup>ち い</sup>地位ごとに<sup>ただ</sup>定められたベースとなる「<sup>さいていほしょうきんがく</sup>最低保証金額」は、すべての力士が 3円からのスタートで、<sup>しょうしん</sup>十両に昇進すると、最低でも 40円が<sup>しきゅうひょうじゅんがく</sup>支給標準額になります。

<sup>せいせき かさんほうしき しきゅうひょうじゅんがく けつてい</sup>成績による加算方式で支給標準額が決定されます。

その上相撲部屋や力士には「タニマチ」と呼ばれる後援者がいる。タニマチは、<sup>きぎょう だんたい</sup>企業や団体ごと、または<sup>こじんてき</sup>個人的でなる人もいる。それら



は相撲のスポンサーである。その上、相撲はかれらの会社をより有名にする。

## 4.2 幕下以下の給料

まくしたいか げっきゅうせいど もう たいへん  
幕下以下には、月給制度は設けられていない。とても大変である。  
ただし しょうれいきん ばしょ てあて しきゅう  
ただし「奨励金」と「場所ごとの手当」は支給される。

### 4.2.1 場所ごとの手当

場所ごとの手当」は、正式には「養成員場所手当」と言う。

わかりやす表にまとめた。

| 養成員場所手当 | 年額（6場所） |
|---------|---------|
| 16万5千円  | 99万円    |
| 11万円    | 66万円    |
| 8万8千円   | 52万8千円  |
| 7万7千円   | 46万2千円  |

一覧表 3：幕下以下の場所ごとの手当

### 4.2.2 幕下以下の奨励金

しょうれいきん  
奨励金は、正式には「まくしたいかしょうれいきん いほんばしょ しょうはい  
よって 金ぐく へんどう  
よって金額に変動がある。

| 番付  | 勝ち星（1勝ごと） | 勝ち越し星（星1つあたり） |
|-----|-----------|---------------|
| 幕下  | 2,500円    | 6,000円        |
| 三段目 | 2,000円    | 4,500円        |
| 序二段 | 1,500円    | 3,500円        |
| 序の口 | 1,500円    | 3,500円        |

一覧表 4：幕下以下の奨励金しょうれいきん

### 4.3 優勝賞金

最後は「優勝賞金」についてです。

勝敗の結果が全ての世界で、優勝は特別な価値があると共に、  
賞金の額も高額となります。各段ごとの優勝賞金の一覧表である。

| 番付  | 優勝賞金（副賞） |
|-----|----------|
| 幕内  | 1,000万円  |
| 十両  | 200万円    |
| 幕下  | 50万円     |
| 三段目 | 30万円     |
| 序二段 | 20万円     |
| 序の口 | 10万円     |

一覧表 5：相撲の優勝賞金

優勝すると、賞金とは別に、副賞としてあらゆる賞品を受取  
ることができます。例えばビールとか牛肉とか日本酒などである。

殊勲・敢闘・技能賞はそれぞれ 200 万円

「殊勲賞」「敢闘賞」「技能賞」の三つの賞を「三賞」と呼び、  
賞金はそれぞれ 200 万円です

一つの賞に複数の力士が選ばれる場合や、一人の力士が二つ三つと受賞する場合もある。

該当者がいない場合もある。

ときどき相撲は聴衆からお金を受け取る。聴衆は好きな力士お金を与えることができる。

#### 4.4 力士の退職金

力士が引退する平均年齢は 20 代前半、幕内の力士であれば 30 歳過ぎくらいといわれており、かなり若いときに第一線を離れる人が多くなっています。彼らは多くの理由で早く退職する。たとえば厳しいトレーニングや怪我や病気によって引退せざるを得ない人などもいる。力士の平均の引退年齢が早い一方、40 歳を超えても現役を続けてきた力士もいないわけではない。

Careergarden のページによると実際、力士には「退職金」というものがない。

しかし、力士が引退すると、退職金と同じ「養老金」になる。これは「基本金」と「加算金」を含む。

養老金は、番付や勤めた場所数などに応じて追加の助成金である。

なお、幕内連続 20 場所以上、もしくは幕内通算 25 場所以上の相撲力士となっており、協賛対象となる場合がある。

養老金の基本金は、横綱が 1500 万円、大関が 1000 万円、関脇・小結・前頭が 763 万円、十両が 475 万円となっている。

また、加算金<sup>かさんきん</sup>は一場所ごとに、横綱が 50 万円、大関が 40 万円、関脇・小結が 25 万円、前頭が 20 万円（非資格者は 15 万円）、十両が 15 万円となっている。番付と業績<sup>ぎょうせき</sup>は退職金<sup>たいしよくきん</sup>に大きく影響<sup>おおえいきょう</sup>する。また養老金とは別で、「特別功労金」というものも存在します。

特別功労金<sup>とくべつこうろうきん</sup>は、理事会<sup>りじかい</sup>の決議<sup>けつぎ</sup>により、実績<sup>じっせき</sup>から決められるものとなっている。金額<sup>きんがく</sup>は、現在<sup>げんざい</sup>で非公開<sup>ひこうかい</sup>となっている。

多くの力士<sup>おお</sup>は早く引退<sup>りきし</sup>する。それで引退後<sup>はや</sup>、別のキャリア<sup>いんたい</sup>を考<sup>いんたいご</sup>え<sup>べつ</sup>る必要<sup>かんが</sup>がある。例えば監督<sup>ひつよう</sup>とか監<sup>た</sup>督<sup>と</sup>とか調理師<sup>かんとく</sup>とか店<sup>ちょうりし</sup>長<sup>てんちょう</sup>などである。それでお金は心配する必要がない。

## V. 相撲の試合

### 1. 土俵

相撲の場合は土俵と呼ばれる競争のリングで行われる。

適切な土俵は、次の3つの象徴的な基本要素にもとずいて設計する必要がある。三角形のつり屋根、丸い同士、四角台座申聖な空間的は神社を象徴している。

土俵はいつ丸くなった。江戸時代はこれがはっきりしなかったようだ。相撲の伝記によると、見物人は直径7-9メートルの円を作り、それを「人方屋」と呼んだ。

土俵は、一辺が6.7メートルの正方形に土で埋められたもので、直径4.55メートルの円が勝負俵（合計16俵）で作られていて、その円の東西南北に俵徳（計4俵がある）と呼ばれる、俵1つ分の出っ張り（出っ張り）が設けられている。外側にずらしてあるので、力士に有益である。それが「徳俵」の源と言われています。昔は相撲はたいてい野天で行われていたので、雨水が溜まった。雨水が抜やすいように徳俵を作る。

土俵作りは呼出しの仕事である。本場所、相撲部屋の研修会場、海外公演の会場など、あらゆるの場所の土俵は呼出しが作る。

金は土俵に埋もれているよく言われるが、これは心強い言葉である。実際には土俵で金がない。縁起を担ぐ意味で勝栗や米や塩などが神への供物として土俵祭の際に埋められる。

どひょう きかい つか じんりき つく だいしゃ  
土俵をつくる時は、機械を使わず、すべて人力で作る。台車)で  
はこ つ あ せんよう どうぐ かた くぎ か  
運び、積み上げて専用の道具で固めます。釘やコンパス使って円を描き、  
つち けず たわら こ つち いちどたた なめ どひょう  
土を削り、俵を埋め込み、土をもう一度叩いて、滑らかにする。土俵  
の土は粘土である。この土は積み上げても変形せず、揺れに強いため  
もある。その上砂質土が散らばっている。力士の足首への負担を軽減す  
あんぜんたいさく しょうぶだわら そとがわ はば すな あつ そう おお  
る安全対策でもある。勝負俵の外側に 25 センチの幅で砂の厚い層で覆  
られる。これを蛇の目 (じゃのめ) と言う。土俵際ははっきりしない  
ばあい じゃ め かくにん しんぼん りきし しょうぶだわらがい はんたん  
場合は蛇の目で確認できる。審判は、力士が勝負俵外かどうかを判断  
できる。力士の足が土俵に出る場合、砂に足跡がある。土俵は本場所に  
りきし あし どひょう で ばあい すな あしあと どひょう ほんばしよ  
のみあり、練習ではない。

ちゅうおう  
土俵の中央には、幅 6 センチ、長さ 90 センチ、70 センチ間隔の  
2 本の仕切り線がある。この仕切り線を描く人は呼び出しである。イナ  
メルペイントで描かれている線の色は自と決まっている。力士が仕切り  
せん せん ぬ  
線をぼかすので、2-3 日塗る。

すもう どひょう じめん たわら じょうぶ たわら のぞ どひょう  
相撲の土俵は地面から俵の上部まで 60 センチ、俵を除けば土俵  
うえ かぶ  
の上から下部まで 55 センチに設計されているが、土俵の高さを下げる  
けが  
と怪我をすることがわかっている。

どひょう うえ やね  
Wikipedia のページによると、土俵の上にはつり屋根がある。つり  
やね やすみ さ ふさ いろ ちが すみ いろ あか あお しろ  
屋根の四隅に下がる房の色の違いがある。隅の色は赤、青、白、黒があ  
る。4 つの房と色には宗教的な意味がある。空の 4 つの方向を制御す  
ふさ いろ しゅうきょうてき い み そら ほうこう せいぎよ  
る 4 つ神々を表する、青い (緑色の) 房 (青房) は東方を守護する青  
かみがみ ひょう あお みどりいろ ふさ あおふさ とうほう しゅご  
龍、白い房 (白房) は西方を守護する白虎、赤い房 (赤房) は南方を  
しろ ふさ せいほう しゅご あか ふさ あかふさ なんぼう

しゅご むらさき くろ ふさ くろふさ ほつぼう しゅご あらわ  
守護する朱雀、紫または黒の房（黒房）は北方を守護する玄武を表  
している。つり屋根の重量は6.25トンである。

かくばしよ しよにちぜんじつ どひようさい おこな すもう  
また、各場所の初日前日に土俵祭が行われる。相撲は、  
にほんすもうきょうかい じむきよくちょう ちゅうさいてい じむきよくちょう あつ どひようさい おこな  
日本相撲協会の事務局長と仲裁廷の事務局長が集まって土俵祭が行わ  
れる。どひようさい たてぎょうじ さいしゅ しゅくし ほうじょう くもつ ささ  
土俵祭とは立行司が祭主となり、祝詞を奉上し、供物を捧げて  
ばしよちゆう あんぜん こうぎょう ごくほうじょう きねん どひよう ちゅうおう  
場所中の安全と興行、五穀豊穰を記念するものである。土俵の中央に  
あな あ にほんしゅ べい しお  
穴を開け、日本酒、米、塩などがある。

どひよう たたか まえ しお な しょうどく きよ しお  
土俵は戦いの前に塩を投げて消毒される。これは「清めの塩」  
どひよう じゃき はら どひよう かみ いの いみ  
といい、土俵の邪気を祓い、土俵を清め、神に祈るという意味があ  
る。じゅうりょういじょう しお せきとり りきし いちにんまえ  
る。十両以上になったら塩をまぶす（関取のこと。力士として一人前  
になった。ほんばしよちゆう 1にち しおしやうりょう やく  
になった。本場所中、1日に塩使用量は、約50キロにもなるといわれて  
いる。りきし おおごえ はくしゅ かみがみ しょうにん よ でんせつ かみがみ  
力士は大声で拍手して神々の証人を呼び、伝説の神々のような  
つよ も のぞ さいしゅ しんじ おこな ほうやかいかう  
強さを持つことを望んでいる。祭主が神事を行い、方屋開口を  
ぐんぱいうちわ て ごんじょう ばんづけひょう こくぎかん どひよう  
軍配団扇を手にして言上する。たとえば番付表、国技館、土俵などに  
はな  
ついて話す。

とくべつ すもう どひよう しんせい ばしよ によにんきんせい  
特別は相撲において土俵は神聖な場所で女人禁制とされている。  
じよせい しろうとすもう さんか ばあい どひよう  
でも女性も素人相撲に参加することができる。その場合、土俵は  
うんどうじょう み  
運動場と見なされる。



写真 5：相撲の土俵

## 2. 相撲の試合

### 2.1 協議前にじゅんびする

うんえいしやがわ  
運営者側

- 一 発熱の兆候がないか選手の健康をチェックする。
- 一 すべての選手に対して 10分間の準備運動を実行する（通常の準備運動は発汗が必要がある）。

じゅんぴうんどう はっかん  
準備運動は発汗が必要がある）。

- 一 選手が注意事項を遵守しているかどうかを確認する。（つめ切り、用便その他の確認）

きやうぎしやがわ  
競技者側

- 一 試合に関する知識を準備する必要がある。すもうは心と体を鍛えることを目的にして行うものである。それは攻撃と伴う公の競争である。試合に入る時は真剣に練習する必要がある。油断があってはならない。勝利は非常に重要ですが、間違った方法を使って勝と、



ほうりつ やぶ ほうりつ やぶ  
法律を破ることになる。きぜん せいしん きょうぎひつよう  
毅然とした精神で競技必要があり、あいて おお  
相手が大き  
くなるまえ おそ しめ  
くなる前に恐れを示さない。

### きょうぎまえ こころえ + 競技前の心得

しあい はじ まえ おこな  
- 試合が始まる前にトイレに行ておくこと。

みじか き  
- つめは短く切っておくこと。

しあいかいし すく じかんまえ  
- 試合開始の少なくとも1時間前に食べておくこと。

よ じゅんびうんどう あせ ていど おこな  
- 良い準備運動をしておくこと。これは汗をかく程度まで行うの  
めやす  
が目安である。

いくつかの準備運動がある。

- かんせつじゅうなんうんどう  
関節柔軟運動

りきし しんたいのうりよく れんしゅう こうじょう たす  
力士が身体能力と練習スキルを向上させるの助ける。それに  
かんせつじゅうなんうんどう きんにく かんせつ じゅうなん たす  
関節柔軟運動は筋肉と関節がより柔軟になるのを助ける。

- しんあしうんどう  
伸脚運動

かはんしん うんどう ひだりあし みぎあし  
これは下半身にバネをつけるための運動である。左足と右足を  
こうご の  
交互に伸ばす。

- し こ  
四股

りょうほう あし の かま さゆう あし こうご あ ちから くわ  
両方の足を伸ばして構え。左右の足を交互に上げて力を加え  
る。ひざ て お じょうはんしん ま たも ひつよう まえ  
膝に手を置く。上半身はつねに真っ直ぐに保つ必要がある。前  
かたむ こうか うしな  
に傾くと効果が失われる。

- てっぽう

はしら む さゆうこうご つ ば かたほう て はしら はな  
柱に向かって、左右交互に突っ張る。片方の手を柱から離し、  
もう片方の手で突っ張るのがこつである。

- ころがり

ころがりとは、受け身のことで、<sup>う み</sup>頭や<sup>あたま かた</sup>肩などを<sup>じめん</sup>地面にぶつけるこ  
となく<sup>ころ かた ひじょう じゅうよう</sup>転び方は非常に重要だ。

きょうぎちゆう こころえ  
+ 競技中の心得

— <sup>こうぜん げきじん たたか</sup>公然と激甚に戦う。

— <sup>くち</sup>口はしっかりと<sup>きょうそう</sup>とじて競争する。

— <sup>ほうりつ いはん</sup>法律に違反することをしない。

きょうぎご こころえ  
+ 競技後の心得

— <sup>しあい お あと い</sup>試合を終わった後、ありがとうと言わなければならない。

— <sup>たいちょう ととの やす うんどう</sup>体調を整えるため、すぐに休まずに運動する。

## 2.2 <sup>しあい ぜんご しょさ</sup>試合の前後の所作

- <sup>にゆうじょう</sup>入場

<sup>かかりいん し じ したが りきし じゅんびしつ かいじょう にゆうじょう</sup>  
係員の指示に従い、力士は準備室から会場へ入場する。

- <sup>りきしぜんいん れい</sup>力士全員で礼

<sup>どひょうせき なら のち し じ したが</sup>  
土俵席に並んだ後、「礼」のアナウンスの指示に従い、  
<sup>ぜんいん れい れい あと どひょう せき こし お</sup>  
全員で礼をする。礼の後、土俵だまり席に腰を下ろす。

- <sup>どひょう すす</sup>土俵へ進む

「<sup>ひがし</sup>東、<sup>きみ</sup>～君」「<sup>にし</sup>西、<sup>きみ</sup>～君」と名前を呼ばれた力士は立ち上がり、「<sup>はい</sup>はい」と返事をして土俵へ進む。

- <sup>どひょう</sup>土俵へ上がる

<sup>ちゅうおう</sup>中央の上がり段に片足で入る、<sup>たが</sup>徳俵の内側に入る。蛇の目<sup>すな</sup>の砂を踏まないように注意する。

- <sup>りつれい</sup>立礼

<sup>とくたわら</sup>徳俵の内側でお互いにりつれいする。

- <sup>しき</sup>仕切り線

- <sup>そんきょ</sup>蹲踞

<sup>せすじ</sup>背筋を伸ばして膝に<sup>ひざ</sup>両<sup>りょうてのひらて</sup>手掌<sup>お</sup>を置く。両膝は十分に左右に<sup>ひら</sup>開き力を抜く。

- <sup>しき</sup>仕切り

<sup>そんきょ</sup>蹲踞から立ち上がり、<sup>みぎあし</sup>右足と<sup>ひだりあし</sup>左足を<sup>ひら</sup>開き、<sup>こし</sup>腰を<sup>ふか</sup>深く<sup>お</sup>下ろす。

<sup>こぶし</sup>拳を<sup>じめん</sup>地面に<sup>つ</sup>付け、<sup>まえ</sup>前へ<sup>たいじゅう</sup>体重を<sup>か</sup>掛ける。

- <sup>しあい</sup>試合

<sup>しゅしん</sup>主審は「ハッケヨイ」を叫んだとき立ち上がり、<sup>と</sup>取り<sup>く</sup>組む。

- <sup>しょうぶ</sup>勝負の決定

<sup>しょうぶ</sup>勝負を決まると、<sup>しゅしん</sup>主審が<sup>とうざい</sup>東西の<sup>しょうしゃがわ</sup>勝者側に<sup>うで</sup>腕を<sup>あ</sup>挙げて<sup>りょうりきし</sup>両力士は<sup>とくたわらうちがわ</sup>徳俵内側へ<sup>もど</sup>戻る。

- <sup>りつれい</sup>立礼

- <sup>しゅしん</sup>主審の「<sup>れい</sup>礼」の<sup>ごうれい</sup>号令でもう一度<sup>いちど</sup>お互いに<sup>たが</sup>立礼する。

- <sup>しょうしゃ</sup>勝者は<sup>そんきょ</sup>蹲踞

しょうしゃ ばしょ そんきよ はいしゃ どひょう で  
勝者はその場所に蹲踞する。敗者は土俵から出る。

- 勝ち名のり

しゅしん ひがし にし か な う しょうしゃ  
主審から「東（西）」、と勝ち名のりを受けたら勝者は  
もくれい どひょう で かかりいん しじ  
目礼する。土俵から出て係員の指示に従う。

- 選手全員で礼、退場

しあい お かかりいん しじ したが  
すべての試合が終わったら、アナウンスと係員の指示に従  
たいじょう  
い退場する。

すもう か ま かか と あ さけ さけ  
相撲では、勝ち負けに関わらる、飛び上がったり叫んだり叫  
て ふ た こういてき こうどう  
んだり、手を振ったり、他の好意的な行動をしたりしないでくだ  
りきし かんきやく たいせんあいて そんちょう ひつよう  
さい。力士は観客とその対戦相手を尊重する必要がある

## 2.3 相撲の基本ルール

あいてりきし さき どひょう そとがわ あし ふく からだ いちぶぶん せつしよく  
相手力士よりも先に、土俵の外側に足を含む体の一部分が接触  
すると、その時点で負けと判断される。その結果、上手投げや寄り倒  
たお ばあい おそ あいてりきし さき どひょう そと せつしよく  
で倒された場合、恐れてはいけない。相手力士を先に土俵の外に接触  
ひつよう  
させる必要がある。

どひょう そと あし ふく からだ いちぶぶん せつしよく ま かたいがい  
それから土俵の外に足を含む体の一部分が接触する負け方以外  
どひょう なか あし うらいがい からだ いちぶぶん どひょう せつしよく ま  
にも、土俵の中で足の裏以外の体の一部分が土俵に接触したら負けに  
なる。

つぎ あ かくこうい あいて きがい あた きけん て わざ  
次に挙げる各行為は、相手に危害を与える危険な手や技であり、  
きん  
禁じられている。試合で禁じ手・禁じ技を用いた場合は取り直しや反則  
負けとなることがあります。

かい しんぱんちよう ふくしんぱんちようじゃっかんめい しんぱんいんじゃっかんめい  
会には審判長1名、副審判長若干名、審判員若干名をおいて  
たいかい しんぱん おこな しんぱんいん まさる ま けつてい たしんぱん かん  
大会の審判を行う。審判員が勝か負けるかを決定、その他審判に関する  
あた うえしあい かんれん しんとう ぎしき しゅうどう りきし  
ことに当る。その上試合に関連する神道の儀式を主導する。力士のよ  
うに、審判は多くの等級があり、最高等級は立行司と呼ばれる。この  
しんぱん おお とうきゅう さいこうとうきゅう たてぎょうじ よ  
等級は神道の司祭のような伝統的な衣装を着ている。状況によって  
とうきゅう しんとう しさい でんとうてき いしゅう き じょうきょう  
は誰か勝ったかを決めるために、審判の決定を検討する必要がある。  
だれ か き しんぱん けつてい けんとう ひつよう  
審判長を中心として、主審及び副審判との合議の上決定する。たとえ  
しんぱんちよう ちゅうしん ししんおよ ふくしんぱん ごうぎ うえけつてい  
ば、両方の力士が足の裏以外の体の一部分が土俵に接触するか、同時  
りょうほう りきし あし うらいがい からだ いちぶぶん どひょう どうじ  
に土俵の外側に足を含む体の一部分が接触する場合は考慮しなければ  
どひょう そとがわ あし ふく からだ いちぶぶん せつしよく ばあい こうりよ  
ならない。時々、なんか起こったかを知るためにビデオを見なければな  
らぬ。ときどき お し

これらの行為は「禁じ手」と言われ、もし行われた場合は反則負  
けになる。また、じゅうど はんそく おか ばあい しゅつじょうていし  
重度の反則を犯した場合は出場停止になる。

きょうぎちゅう りきし じゅうしょう お ばあい しんぱんごうぎ ま  
競技中、力士が重傷を負った場合、審判合議のうえ負けとする  
ことがある。

まえぶくろ きょうぎ お ばあい ま  
前袋が競技に落ちた場合、それは負けとする。

しあい つうじょうすうびょう ふんつづ すうふんつづ  
試合は通常数秒から1分続く。ただし、数分続くこともある。

やく3ふんかん しあい いちどきょうぎ おこな  
約3分間の試合で勝負のつかないときは、もう一度競技を行う。

れんぞく2かいとりなお きゅうけい と しんぱん そうだん  
連続2回取直すときは、3分以上の休憩を取り、審判に相談する。

た じこう にほんすもうれんめいたいかい きょうぎきてい さだ  
他の事項については日本相撲連盟大会競技規定に定められた  
しんぱんきてい したが  
「審判規定」に従う。

### 2.3.1 禁じ手

- 握り拳で突き、殴ること。

あいて は お  
相手の歯が折れる。

あいて め いた  
相手の目を痛める。

- 張り手

こまく やぶ  
鼓膜が破れる。

- 髪の毛をつかむこと。

- のどを掴むこと。

あいて くび いた  
+相手の首を痛める。

あいて いき くる  
+相手のあ息が苦しい。

- 膝や胸や腹などを蹴ること。

あいて ないぞう わる  
+相手のああ内臓が悪くなる。

- 意図的に前袋（急所を覆う部分）を握ること。

- 目、みぞおちなどの危険な場所への攻撃すること。

あいて め み そんしょう  
+相手のあ目が見えなくなる。あるいは損傷する。

あいて こきゅう  
+相手の呼吸ができなく。




- 噛むこと

あいて かわ やぶ  
+相手の皮が破る。

- 指を反対側（はんたいがわ）に折り返すこと。

あいて ゆび こっせつ  
+相手の指が骨折する。

### 2.3.2 禁じ技




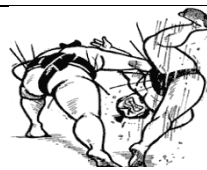





|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>はん<br/>反わざ</p>   | <p>かわつか<br/>河津掛け</p>  | <p>さばお<br/>鯖折り</p>  |
|    |    |    |
| <p>あいて う み<br/>+相手が受け身をとれない。</p> <p>こうとうぶ なく つ<br/>+後頭部を殴り付ける。</p>                  | <p>こうとうぶ<br/>+後頭部を強打する。</p> <p>じんたい きず<br/>+靱帯を傷つける</p>                             | <p>こし いた<br/>+腰を痛める。</p> <p>ひざ きず<br/>+膝を傷つける。</p>                                    |
| <p>極めだし</p>   | <p>合掌</p>   | <p>鴨の入れ首</p>  |
|  |  |  |
| <p>あいて ひじ いた<br/>+相手の肘を痛める。</p>   | <p>+自分の手の指を骨折する</p> <p>+相手が腰を傷つける</p>   | <p>あいて くび いた<br/>+相手の首を痛める。</p>   |
| <p>後頭部を相手の腹部につける。</p>   |   |   |
|  |   |   |
| <p>首を痛める。</p>   |   |   |

一覧表 6 : 相撲の禁じ技

### 2.3.3 決まり手

力士は勝つための技術をもっている。健康は十分ではない彼らは  
知性を必要とする。日本相撲協会が定める決まり手は実に 82 を数える。  
たくさんですね。以下にいくつかの典型的な決まり手を紹介する。私  
は人々がそれぞれの技術をよりよく理解できるようにイメージを追加す  
る。



|   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| 突き出し  | 押し出し  | 寄り切り   | 上手投げ  |
|    |    |    |    |
| 相手を後ろに倒す。   | 頭を押し土俵外に運ぶ。   | 組んで寄って相手を土俵外に出す。   | まわしを掴み投げて倒す。  |
| 下手投げ  | 小手投げ  | 掬い投げ   | 上手出し投げ  |
|    |    |    |    |
| 下手でまわしを掴みなげる。   | 相手の指し手上から投げる。   | 相撲の腕を脇の下から投げる。   | 上手まわしひっぱり出すように投げる。  |
| 吊り出し  | 足取り   | 突き落とし  | 掛け投げ  |
|  |  |  |  |
| 相手を持ち上げて土俵へ出す。  | 相手の片足を抱えて倒す。  | 肩やわき腹に手を当て突き落とし。   | 足をからめて投げる。  |

一覧表 7 : 相撲の決まり手

## 2.4 一日の相撲の試合

各かくトーナメントは日曜日にちようびに始まり、15日間はじ行われ、日曜日にちかんおこなに終わる。上位2ランクのすべてのレスラーは1日かに1試合ずつ、下位クラスのレスラーは7試合、2日ごとに1試合。

下位かいの試合は毎日8:30に始まり、最後の3日間は午前10じに始まる。十両の試合は午後3じに行われ、幕内の試合は午後4じに始まる。最高の等級は毎日ごご6じ直前に出場する。トーナメントで相撲の順位を変える儀式もとてもおもしろい。相撲大会の最終日は、表彰式を行うため、30分以上前にスケジュールが繰り上げられる。

スタジアムの雰囲気ふんいきは終盤しゅうばんに向けてますます賑やかむになり、観客かんきやくは最ももっと壮観そうかんな試合しあいだったので、深夜しんやに行われた試合おこなで観客しあいがさらに、混こんでいるように見みえた。上位力士じょういりきし一同士どうしの試合しあいでは、準備時間じゅんびじかんが長ながくなり、エチケットが増えるため、今回の試合こんかいの間隔しあいも長かんかくくなる。

彼かれは、相撲協会すもうきょうかいの司法部しほうぶのメンバーである元相撲取りもとすもうとによって決定けっていされる。トーナメントの試合数しあいうと比較して、各ランクにはより多くのレスラーがいるため、2つの隣接するクラス間でわずかな重複じゅうふくが発生する可能性があるが、各レスラーは同じランクの対戦相手の選択たいせんあいてとのみ競合きょうごうする。三役レベルやくのレスラーのぞを除いて、最初さいの試合は近いランクのレスラーの間で行われる傾向けいこうがある。その後ご、対戦相手の選択たいせんあいては、レスラーの以前のパフォーマンスを考慮せんたくに入れる。

通常のトーナメントでは一部の試合が禁止されている。同じ相撲部屋の力士は互いに競争することはできない。競合する力士は、異なる相撲部屋に参加していても兄弟はできない。このルールの例外は、同じ相撲部屋の力士と兄弟が追加の試合で互いに向き合ってチャンピオンシップを決定できることだ。

### 3. 相撲の試合を観戦するためのヒント

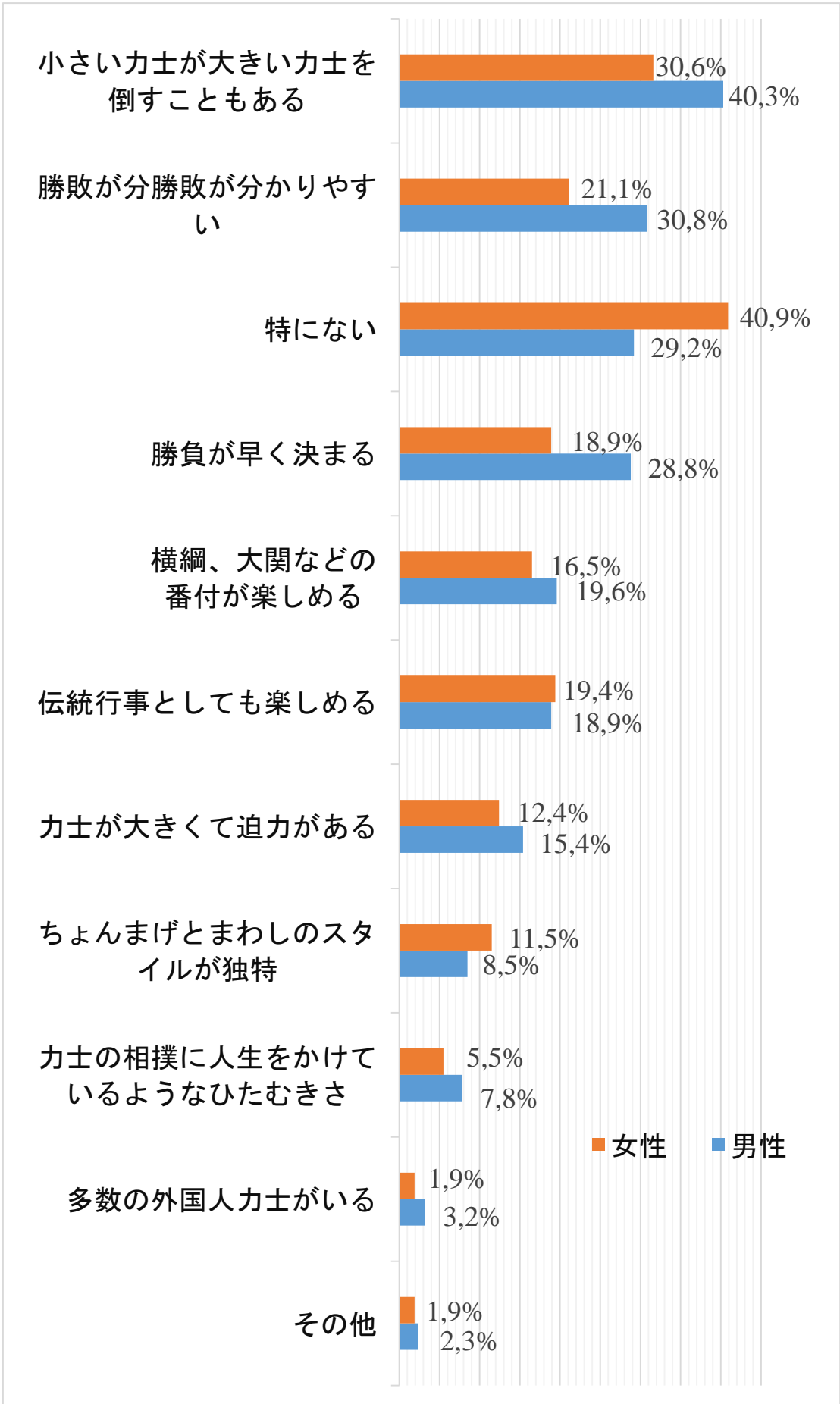
日本では、相撲は野球を除いて他のどのスポーツよりもファンが多い。性別、年齢、社会的背景の異なる日本人は相撲の熱狂的な支持者である。

毎年、トーナメントには、ライブの試合やテレビを見ている役6000万人の視聴者が集まっている。日本人は好きな力士を見たり何時間も座って試合を観戦したりするために、43000円までのチケットを購入するお金を後悔していない。相撲の試合を観戦する方法はたくさんあるが、ライブでトーナメントを観戦するのが一番である。チケットはトーナメント全体で毎日販売されている。公式のサプライヤースタジアム、コンビニで事前にチケットを購入できる。視聴者の最低年齢は4歳である。チケットには座席の選択が含まれており、通常3種類の座席から選択できる。

最初のタイプの席：土俵に最も近い席である。これは、予約するのに最も高価で最も難しい座席でもあることを意味する。しかし、力士が当たる可能性もあり大変危険である。

二番目のタイプの席：最初のタイプの席に加えて、スタジアムの1階には日本の二番目のタイプの席があり、通常4人で一緒に座る。靴をぬいで、クッションに座る必要がある。チケットは二番目のタイプの席ないのすべての座席を含めて販売されることにちゅういする。つまり、一人でや二人で座っている場合でも、4枚すべてのチケットを購入するには支払いが必要である。二番目のタイプの席はシートから土俵までの距離によってA, B, Cに分類される。

二番目のタイプの席：2階までは洋風デザインの列がいくつかある。  
二番目のタイプの席と同様に、二番目のタイプの席もシートから土俵までの距離に応じて A, B, C に分類される。試合当日にスタジアムで購入できる最も安いチケットがある、当日券購入者専用のエリアもある。チケットは多くの場合、特に週末と祝日はすぐに売り切れる。ただし、チケットが完売した場合でも、同じ日に販売できる二番目のタイプの席の席には限りがある。相撲トーナメントのチケットはかくトーナメントの開始のやく1か月前に販売される。チケットはサプライヤーの公式リンクから予約できる。



chosa.nifty.com のページによると、相撲の魅力調査のグラフである。調査は男性と女性の両方で行われた。でも男性と女性の違いは重要ではない。

1位 「小さい力士が大きい力士を倒すこともある」 38.8パーセント

2位 「<sup>しょうはい</sup>勝敗分かりやすい」 29.2パーセント

3位 「<sup>しょうぶ</sup>勝負が早く決まる」 26.9パーセント

4位 「横綱、大関などの番付が楽しめる」 19.3パーセント

5位 「伝統行事としても楽しめる」 19.2パーセント

6位 「力士が大きくて<sup>はくりよく</sup>迫力がある」 15.1パーセント

7位 「ちょんまげとまわしのスタイルが<sup>どくとく</sup>独特」 9.2パーセント

<sup>さいこう</sup>最高は「<sup>ちい</sup>小さい<sup>りきし</sup>力士が<sup>おお</sup>大きい<sup>りきし</sup>力士を<sup>たお</sup>倒すこともある」。<sup>さいてい</sup>最低は「<sup>どくとく</sup>ちょんまげとまわしのスタイルが<sup>どくとく</sup>独特」。ほとんどの人は<sup>おお</sup>大きい<sup>りきし</sup>力士を<sup>たお</sup>倒すことができる<sup>ちい</sup>小さい<sup>りきし</sup>力士が<sup>すもう</sup>相撲の<sup>みりよく</sup>魅力だ<sup>おも</sup>と思う。相撲は<sup>すぽーつ</sup>スポーツの<sup>ようそ</sup>要素があるが、相撲は<sup>すもう</sup>体重<sup>たいじゅう</sup>に関係なく<sup>かんけい</sup>スポーツである。したがって、皆さんは<sup>ちい</sup>大きい<sup>りきし</sup>力士と<sup>ちい</sup>小さい<sup>りきし</sup>力士の<sup>しあひ</sup>試合<sup>ひじょう</sup>を見たい。そして<sup>ちい</sup>小さい<sup>りきし</sup>力士が<sup>おお</sup>大きい<sup>りきし</sup>力士を<sup>たお</sup>倒すこともある<sup>しあひ</sup>それらの<sup>ひじょう</sup>試合<sup>きんちょう</sup>は非常に<sup>おお</sup>緊張<sup>おお</sup>している。大きい<sup>りきし</sup>力士と<sup>ちい</sup>小さい<sup>りきし</sup>力士の<sup>しあひ</sup>試合<sup>しあひ</sup>を見ることも大好きだ。

#### 4. その他の相撲イベント

相撲大会の<sup>あいま</sup>合間の<sup>きゅうけいじかん</sup>休憩時間に<sup>おとず</sup>日本を<sup>かんこうきゃく</sup>訪れる<sup>すもう</sup>観光客の場合、相撲の<sup>かんせん</sup>試合を<sup>ほうほう</sup>観戦する<sup>ほか</sup>方法が<sup>かな</sup>他に<sup>かな</sup>あるので、<sup>かな</sup>悲しまない<sup>かな</sup>でください。この<sup>じき</sup>時期に<sup>おこな</sup>行われた<sup>いんたい</sup>ゆうめい<sup>ぎしき</sup>力士の<sup>あいま</sup>トーナメントと<sup>いんたい</sup>引退の<sup>ぎしき</sup>儀式的<sup>あいま</sup>合間の<sup>きゅうけいじかん</sup>休憩時間に<sup>ぜんこく</sup>全国で<sup>かいさい</sup>開催された<sup>と</sup>トーナメントの<sup>てんじ</sup>展示<sup>ふく</sup>を含む。この<sup>ぎしき</sup>儀式は<sup>てんらんかい</sup>展覧会でも<sup>かいさい</sup>開催され、<sup>りきし</sup>力士の<sup>りきし</sup>優しい<sup>りきし</sup>試合と<sup>りきし</sup>ヘアカットの<sup>りきし</sup>儀式が行われる。

また、相撲すもうのクラブを定期的ていきてきに運営うんえいしている大学こうこうや高校こうこうもあるが、これらのクラブのいずれかほうもんを訪問ほうもんすることもできる。ときどきお寺てらやお祭りまつで相撲が見られる。

## 5. いくつかの有名な力士

たくさん有名な相撲がいる。ここにいくつかの相撲を紹介する。彼はとても上手でファンも多い。

- 白鵬 翔（1985 年 3 月 11 日）はモンゴルから来た。2007 年にかれは 2 回連続で優勝し、よこずなに昇進した。2008 年に東京で 1 試合しか負けず、モンゴルのよこずな「朝青龍 明德」で 14 試合に勝った。7 月、9 月、11 月のシーズンに白鵬はチャンピオン数は 9 回となる。

- 双葉山 定次双葉山 定次（ふたばやま さだじ、1912 年 2 月 9 日 - 1968 年 12 月 16 日）は、大分県宇佐郡天津村布津部ふつぶ（現：大分県宇佐市下庄げん おおいたけん したしょう しゅっしん もと）出身の元大相撲力士。第 35 代横綱。

彼は 12 のチャンピオンシップに勝利し、64 試合連続勝利しあいれんぞくしょうりした。引退後、日本相撲協会いんたいご にほんすもうきょうかいの会長かいちょうに就任しゅうにんした。

- 水戸泉 政人（みといずみ まさと、1962 年 9 月 2 日 - ）は、茨城県水戸市しゅっしん出身で高砂部屋しよぞく もと所属の元大相撲力士。彼が達成できる最高さいこうランクは関脇らんく せきわけである。本名は小泉 政人（こいずみ まさと）。身長 194 センチメートル、体重 192 キロキャリアの中で彼は 800 の戦いを果たした。1992 年に幕内まくうちを獲得かくとくした。

- 小錦八十吉（1963 年 12 月 31 日 - ），是一位出身夏威夷薩摩亞人ぜいちいしゅっしん的前大相撲力士，也是首位成為大關的非日本人力士。彼は 287 キロの重さでかつてもっと重い相撲だった時代がある。大関のランクを獲得した最初の外国人相撲である。

- 朝乃山 英樹（1994年（平成6年）3月1日 - ）は、富山県富山市呉羽町<sup>しゅっしん</sup>出身で、高砂部屋<sup>しよぞく</sup>所属<sup>げんえき</sup>の現役大相撲力士。  
<sup>ほんみょう</sup>本名は石橋 広暉（いしばし ひろき）。身長 188 センチメートル、体重 172 キロ。彼は 2016 年に相撲に初めて参加した。2017 年に幕内になった。かれが 6 つの特別な賞をよこずなを倒すための金星を持っていた。



## VI. ベトナムのレスリングの対照

### 1. 類似点

相撲は日本の伝統的なスポーツである。ベトナムにもレスリング祭りがある。伝統的な祭りである。ベトナムのレスリングにも数千年の歴史がある。たくさん将軍は土俵を設置し、国を助けるために戦う有能な人々を見つけた。レスリングはベトナムの農民の間で人気のあるスポーツだ。

### 2. 相違点

#### 2.1 練習

暇な時だけ田舎の力士と一緒に練習する。誰がどんないい方法が相手を倒すことができるかを知っていて、皆に教えることができる。村に武道の先生がいれば、うちの先生に勉強にくる。ベトナムにもプロレス大会がある。ベトナムのレスラーは訓練され、競争するために海外に行くことができる。でも力士は相撲部屋にいる必要がない。ベトナムでレスリングは相撲ほど厳格ではない。

#### 2.2 ルール

身長や体重についても厳密なルールがない。ベトナムでのレスリングの試合で相手を倒すには、次のルールに従う必要がある。

- 地面から両足を含めて相手を持ち上げる（片足を持ち上げることはだめだ。
- 相手を倒す、地面に触れる背中と肩（うつぶせるのはだめだ。）

レスリングは知性と技術も必要である。すぐに勝つために、それぞれの場所に異なるスタイルの異なる技術がある。

## 2.3 試合

レスリングはベトナムの農民の間で人気のあるスポーツだ。とくに北部の一部の地域である。たとえば Vinh Yên (ビンイエン) とか Nam Định (ナムディン) とか Vinh Phú (ビンフー) などである。通常春に開催された。

芝生しばふはアリーナとして使用しようされる。土俵もある。でもとても簡単である。直径ちよつけい6メートルほどの円えんを土俵どひょうと呼ばれる。土俵どひょうは両側りょうがわにはたをあげる。いろいろな色いろがある土俵どひょうの左右たひこには大きく太鼓たいこがある。

経験けいけん豊富ほうふな高齢者こうれいしゃが審判しんぱんに選べる。力士りきしはふんどしがあがる。競争きんそうしたい人は、サインアップして対戦相手たいせんあてを選ぶ。それは副賞ふくしょう。勝った人かは賞しょうを得る。主な賞おもは最優秀賞さいゆうしゅうしょうや二等賞にとうしょうや三等賞さんとうしょうで構成こうせいされる。

挑戦者ちょうせんしゃがいる。勝かちたいなら、挑戦者ちょうせんしゃを勝ち取らなければならない。最優秀賞さいゆうしゅうしょうでは挑戦者ちょうせんしゃは6ラウンド連続で勝つ必要がある。のプレイヤーは5ラウンド連続で勝つ必要がある。二等賞にとうしょうでは挑戦者ちょうせんしゃはラウンド連続で勝って、プレイヤーは3ラウンド連続で勝つ。三等賞さんとうしょうでは挑戦者ちょうせんしゃは3ラウンド連続で勝って、プレイヤーは2ラウンド連続で勝つ必要がある。ベトナムのレスラは相撲ほどボーナスはない。



写真 6 : ベトナムのレスリング

# 結論

この論文は相撲の文化的な美しさに関する研究である。相撲を見ただけでこの武道がよく分からなかった。これにより、この相撲についての理解も深まる。相撲は 1500 年の長い歴史がある。文化的であるだけでなく、神々を崇拝することもある。相撲を見ていたとき、健康な人ならだれも相撲になることができ、練習する必要はない。相撲になるには、力士は身長、体重の要件を満たす必要がある。その後、新しい弟子テストを受けなければならない。テストに合格すると、相撲の部屋で練習しなければならない。相撲の部屋にすべての行動が厳しい規制されている。例えば食事とか練習とか睡眠などである。力士は体重を増やすためにたくさん食べなければならない。メイン料理はちゃんこ鍋である。練習することは毎日 5 時から行われる。とても大変である。等級の番付がある。全ての行動は階層がある。上位力士は給仕され。低等級はとても大変である。たくさん仕事しなければならない。月給はない。それで相撲は健康で粘り強い。トレーニングプロセスは難しく、過食なので、相撲は多くの病気にかかり、60 歳から 65 歳までの平均余命だ。

プロの大会は大相撲と呼ばれている。毎年まいとし 6 つのおおずもう大相撲たいかいすもう大会かいさいたいかいが開催かされている。日本に来る機会があれば、必ず相撲試合をみる。とてもおもしろい。

確かに誰もが相撲を見たことがあるでも、だれもがこのスポーツをよく知っているわけではない。皆がみな すもう相撲をもっとよくりかい理解できるようにこのけんきゅうろんぶん研究論文をやる。皆に相撲を進めたい。

機会があったら、次回は日本の相撲とベトナムのレスリングを比較するために深く研究する。この卒業はまだ深く研究しません。それぞれの武道は伝統文化のことなる特徴を持っている。それはおもしろい課題と思う。

この卒業論文はまだ多くの欠点がある。みんなに助けてくれて、  
いい卒業論文ができることを願っている。

ありがとうございます

# 参考資料

## 1. 一日の大相撲の試合

相撲の試合を観戦するためのヒント

そのための相撲イベント

相撲の衣装

<https://vi.wikipedia.org/wiki/Sumo>

## 2. 相撲の食事

<https://careergarden.jp/rikishi/syokuzi/>

## 3. 相撲力士になるには

<https://spaia.jp/column/sumo/1495>

## 4. 相撲の給料

<https://career-picks.com/average-salary/rikishi->

<https://careergarden.jp/rikishi/salary/>

## 5. 相撲の番付

<https://spaia.jp/column/sumo/4642>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%95%AA%E4%BB%98>

## 6. 相撲の試合

<https://www.wanpaku.or.jp/tournament/rule.html>

## 7. ベトナムのレスリングの対照

<https://www.facebook.com/109859499154381/posts/600347260105600>

## 8. 相撲の魅力調査のグラフ

[https://chosa.nifty.com/hobby/chosa\\_report\\_A20180511/](https://chosa.nifty.com/hobby/chosa_report_A20180511/)

9. 相撲の一日

<https://careergarden.jp/rikishi/ichinichi/>

10. すもうの髪型

<https://careergarden.jp/rikishi/kamigata/>

11. 相撲の土俵

<https://www.wikiwand.com/ja/%E5%9C%9F%E4%BF%B5>

<https://sunchi.jp/sunchilist/tokyo/46718>

12. 相撲の歴史

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9B%B8%E6%92%B2>